

ELECOM

# PALVOワイヤレスマウス ユーザーズマニュアル

この度は、エレコムのパルボシリーズ ワイヤレスマウスをお買いあげいただき誠にありがとうございます。このマニュアルではマウスの操作方法と、マウスを安全にお取り扱いいただくための注意事項を記載しています。ご使用前に、必ずこのマニュアルをお読みください。また、このマニュアルは大切に保管しておいてください。

※このマニュアルでは、一部の表記を除いて「PALVO」ワイヤレスマウスを「本製品」、レシーバユニットを「レシーバ」と表記しています。

## 使用するパソコンのOSを確認します

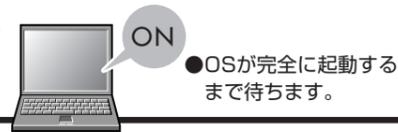
**A** Windows Vista®  
Windows® XP/Me  
Mac OS X (10.4~) の場合  
マウスをつなぐと、自動的にドライバがインストールされます。

**B** Windows® 2000/98  
Mac OS X (10.2~10.3)  
Mac OS 8.6~9.x の場合  
マウスをつないだあと、手動でドライバのインストール作業が必要です。

こちらへ進む

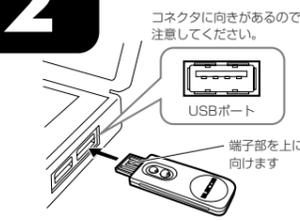
こちらへ進む

### ステップ 1 パソコンの電源を入れます。



●OSが完全に起動するまで待ちます。

### ステップ 2 本製品のレシーバをパソコンにつなぎます。



●USBポートはどのポートでも使用できます。USBハブ経由でも使用できます。ただし、USBハブの電源供給能力によっては本製品が動作しない場合があります。

はじめに確認した接続方法が

**A** の場合  
→自動的にドライバがインストールされます。  
**ステップ3**へ進みます。

**B** の場合  
→ウラ面の「ドライバのインストール手順」で、ご使用のOSにあわせたインストール方法へ進んでください。インストール完了後、**ステップ3**へ進みます。

### ステップ 3 マウスを動かしてみます。



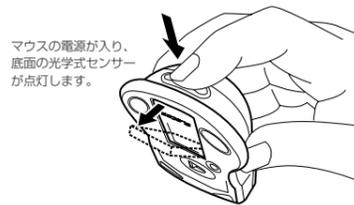
※スチールデスクなど金属面では半径約20cmが使用可能範囲になります。

- マウスに乾電池を入れて、レシーバのすぐ近くに置きます。
- マウスを使ってWebブラウザ(Internet Explorerなど)を起動します。
- 上下にスクロールが必要なホームページを開き、ホイールを前後に動かします。
- 画面が上下にスクロールすれば、本製品の接続は完了です。



## レシーバの着脱方法

**レシーバを取り出す**  
マウスの底面を下にして (ELECOM) ボタンを押すと、レシーバが少し出ますので、指先で取り出します。

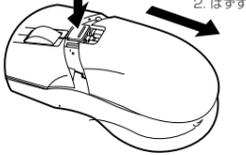


**レシーバを収納する**  
レシーバを下図のように収納部の穴にゆっくりと差し込み、カチッと音がするまで押し込みます。レシーバを収納することで、電源が切れて電池を節約できます。

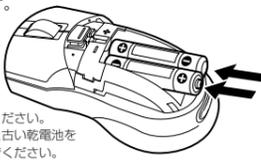


## 乾電池を入れる/交換する

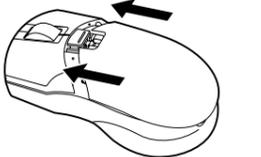
①電池カバーをはずします。 1. ここを押す 2. はずす



②乾電池を入れます。



③電池カバーをセットします。 カチッとほめこむ



- ホイール：前後に動かすことで、画面を上下にスクロールできます。
- 右ボタン：「右クリック」で使用します。
- 左ボタン：「クリック」で使用します。
- 電池カバー：電池ボックスのカバーです。
- 電池カバーボタン：押すと電池カバーのロックを解除します。
- ELECOMボタン：レシーバを取り出すときに押します。
- 光学式センサー：マウスの動きを検知します。電源が入ると点灯します。 ※センサーの光を直接見るとは避けてください。目を傷めることがあります。
- レシーバ/収納部：レシーバを収納できます。
- ID設定ボタン：IDを変更するときに使用します。
- USBコネクタ(オス)：USBポートに接続します。
- 動作表示LED：マウス本体から信号を受信すると点灯します。
- ID設定ボタン：IDを変更するときに使用します。

## パッケージの内容の確認

本製品のパッケージには次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが揃っているかを確認してください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。

- マウス本体：1個 ●レシーバ(ユニット)：1個
- 単4形アルカリ乾電池(動作確認用)：2本 ●マウス収納ポーチ：1個
- ユーザーズマニュアル(このマニュアルです)：1部



## お手入れのしかた

本製品が汚れたときは、乾いたやわらかい布でふいてください。

**注意** シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性の液体を使用すると、変質や変色を起こす恐れがあります。

## 安全にお使いいただくために

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

**警告** この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や大けがなど人身事故の原因になります。

**注意** この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

- ⊘「してはならない」ことを示します。
- ⊕「しなければならない」ことを示します。

### 警告

本製品が発熱している、煙がでている、異臭がしているなどの異常があるときや、本製品に水や金属片などの異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、レシーバユニットをパソコンから取り外して、マウスから電池を取り出してください。そのあとで、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

本製品を落としたり、ぶつけたりしないでください。万一、本製品が破損した場合は、すぐに使用を中止し、レシーバユニットをパソコンから取り外して、マウスから電池を取り出してください。そのあとで、お買い上げの販売店またはエレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡ください。破損したまま使用すると、火災や感電の原因になります。

本製品の分解や改造、修理などを自分で行わないでください。火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証対象外となります。

本製品を火中に投入しないでください。破裂により火災やけがの原因になります。

レシーバユニットはめれた手で抜き差ししないでください。また、加工したり、無理に曲げたりしないでください。火災や感電の原因になります。

マウス本体の底面にある光学式センサーを直接見ないようにしてください。目を傷めることがあります。また、このセンサーを汚したり、傷をつけたりしないでください。

### 注意

- 本製品を次のようなところには置かないでください。
  - 日のあたる自動車内、直射日光のあたる場所、暖房器具の周辺など高温になる場所
  - 多湿なところ、結露をおこすところ
  - 平坦でないところ、振動が発生する場所
  - マグネットの近くなどの磁場が発生する場所

本製品は防水構造ではありません。水などの液体がかからない場所で使用または保管してください。雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。

## 電池について

### 注意

- 本製品には単4形アルカリ乾電池または単4形マンガン乾電池を使用してください。
- 電池は新しいものと古いものを混ぜて使用したり、分解したりしないでください。
- 本製品を長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。液漏れや故障の原因になります。

## ワイヤレス(無線)についての注意事項

### 警告

- 重大な影響を及ぼす恐れのある機器では使用しないでください。まれに外部から同じ周波数の電波や携帯電話の電波の影響を受け、誤動作する、動作が低下する、または動作しなくなることがあります。
- 病院など、電波使用が禁止されている場所では本製品を使用しないでください。本製品の電波で電子機器や医療機器(例えばペースメーカー)などに影響を及ぼす恐れがあります。
- 航空機の安全運航に支障をきたすおそれがあるため、無線式マウスを航空機内で使用することは、航空法で禁止されています。ご搭乗前にお手持のマウス本体の電源を切り、ご搭乗後は常に使用しないようお願いたします。

※本製品の故障等により事故や社会的な損害などが生じた場合、弊社ではいかなる責任も負いかねますので、ご了承ください。

## トラブルシューティング

### マウスを動かしても画面上のマウスポインタが動かない、動作が不安定

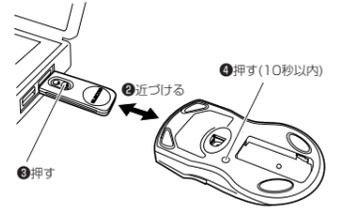
- 使用している場所の光の反射率が光学式マウスに適していない可能性があります。光学式マウス対応マウスパッドを使用してください。
- レシーバとマウス本体の距離が離れすぎているか、レシーバが電波を受信できない方向を向いている可能性があります。特にスチールデスクなどの金属面では電波の到達距離が短くなる場合があります。この場合、レシーバの位置を、マウスの動作が安定するところまで近づけてください。
- ※ご使用の環境によっては、本製品の動作可能範囲内(半径約1.0m、金属面では半径約20cm)でも動作しない場合があります。
- レシーバ(レシーバユニット)に正しく接続されていない可能性があります。一度レシーバをUSBポートから取り外して、接続し直してください。
- 本製品をはじめ、複数のワイヤレス機器と同時に使用すると混信することがあります。混信を避けるためIDの設定を変更してください。本製品のIDを変更する場合は、「IDを変更する」をお読みください。なお、混信を回避しても、近接した周波数を使用するため動作性能が多少低下することがあります。
- レシーバとマウス本体のIDが異なる可能性があります。「IDを変更する」を参照し、同じIDに設定してください。
- 電池の残量が少なくなると動作が不安定になります。「電池を入れる/交換する」(左面)を参照し、早めに新しい電池に交換してください。本製品に付属のアルカリ乾電池は動作確認用です。製品の流通過程で乾電池が自然放電し消費していることがあります。
- ※マウスを使用しないときは電源を切っておくと、電池を節約できます。
- マウスを接続時に「Windows標準マウスドライバ」が正しくインストールされず、本製品が「不明なデバイス」としてWindows®に登録されている可能性があります。下記の「不明なデバイスの削除方法」を参照し、「不明なデバイス」として登録されている場合は、いったん削除のうえ、左面の「ステップ1」からやり直してください。
- ノートパソコンに搭載されているタッチパッドなどのポインティングデバイスのドライバと競合している可能性があります。本製品を正常に使用するには、タッチパッドのドライバを削除する必要があります。ただし、ドライバを削除するとタッチパッドが使用できなくなったり、タッチパッド専用の機能が使用できなくなる可能性があります。詳しくはパソコンのメーカーにお問い合わせください。

### マウスカーソルは動くが、ホイールが動かない

→ホイール機能に対応していない一部のアプリケーションでは、ホイールを操作しても動作しない場合があります。

## IDを変更する

複数の無線機器により混信する場合や、レシーバとマウス本体でIDが異なる可能性がある場合は、以下の手順でID設定を変更してください。なお、ID設定を変更して混信を回避しても、近接した周波数を使用しているために、動作性能が多少低下することがあります。



- レシーバをUSBポートに取り付けた状態でパソコンを起動しておきます。
- 底面を上にしたマウス本体を、確実に電波を受信できるようレシーバに近づけます。
- レシーバユニットの「ID設定ボタン」を1回押します。
- 「10秒以内」にマウス本体の底面にある「ID設定ボタン」を1回押します。
- マウスを動かして、カーソルが正しく動かし確認します。

カーソルが動かない場合は、手順②に戻り、もう一度、IDを変更してください。

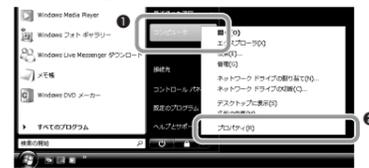
## 不明なデバイスの削除方法

Windows標準マウスドライバが正しくインストールされず、「不明なデバイス」として登録されているときは、以下の手順でデバイスマネージャから「不明なデバイス」を削除したあと、左面の「ステップ1」からやり直してください。

- 「不明なデバイス」が複数ある場合、削除をはじめる前に、どの「不明なデバイス」が本製品の認識情報であるかを確認してください。本製品を一度パソコンから取り外して、「不明なデバイス」の表示が消えれば、それが本製品の認識情報です。
- 以下の手順どおりにドライバを削除しても「不明なデバイス」が消えない場合は、パソコンに何らかの問題が発生している可能性がありますので、パソコンメーカーにお問い合わせください。

## 1 デバイスマネージャを表示します。

- Windows Vista® の場合
- [スタート] ボタンをクリックし、[コンピュータ] を右クリックします。
  - [プロパティ] をクリックします。



③ [デバイス マネージャ] をクリックします。



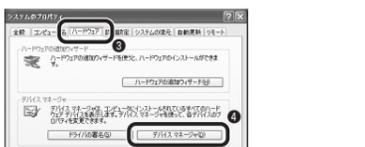
## Windows® Me/98の場合

- デスクトップにある [マイ コンピュータ] アイコンを右クリックします。
- [プロパティ] をクリックします。

- Windows® XP/2000の場合
- [スタート] ボタンをクリックし、[マイ コンピュータ] を右クリックします。Windows® 2000では、デスクトップにある [マイ コンピュータ] アイコンを右クリックします。
  - [プロパティ] をクリックします。



- [ハードウェア] タブをクリックします。
- [デバイス マネージャ] ボタンをクリックします。



2 <デバイス マネージャ> 画面が表示されます。「不明なデバイス」を右クリックし、[削除] をクリックします。



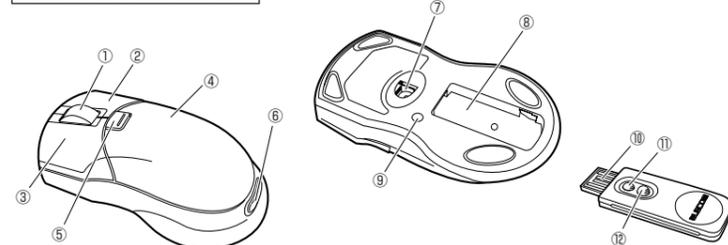
3 [OK] ボタンをクリックします。



4 本製品を取り外し、パソコンを再起動します。

5 左面の「ステップ1」からやり直します。

## 各部の名称とはたらき



# ドライバのインストール手順

# Windows® 2000/98、Mac OS X(10.2~10.3)/8.6~9.xの場合

一部のWindows® 2000の環境とWindows® 98では、USBコネクタを取り付けたあとにウィザード画面が表示されます。ウィザード画面が表示された場合は、次の各OSの説明をお読みになりWindows標準マウスドライバをインストールしてください。また、MAC OS X(10.2~10.3)とMac OS 8.6~9.xではドライバのインストールが必要です。

**Windows® Vista、Windows® XP/MeおよびMac OS X (10.4~)は、ドライバが自動的にインストールされますので、この作業は不要です。**

**MEMO**

Windows® 2000/98ではWindows標準マウスドライバのインストール時にマウスの操作が必要なことがあります。マウスまたはタッチパッドなどがないパソコンをご使用の場合は、下記をご覧ください。キーボードを使って操作してください。

- Tab : 項目やボタンを移動します。
- ↑ ↓ : 項目に選択肢がある場合に、選択肢の間を移動します。
- スペース : キーを押すたびにチェックボックスをオン/オフします。
- 次へ [OK] [キャンセル] などのボタンを実行したい場合は、[Enter] キーを押します。

## Windows® 98の場合

本製品をUSBポートに接続すると、**新しいハードウェアの追加ウィザード**画面が表示されますので、**手動でWindows標準マウスドライバをインストール**します。

**MEMO**

「Windows® 98オペレーティングシステム」のCD-ROMが必要になる場合がありますので、あらかじめご用意ください。

- Windows® 98プリンストールモデルのパソコンの場合  
パソコンのご購入時に添付されている「Windows® 98 CD-ROM」または「Windows® 98 Second Edition CD-ROM」をご用意ください。これらのCD-ROMがない場合は、このあとの手順の説明にしてください。  
※Windows® 98プリンストールモデルの場合は、ドライバが自動的にインストールされることもあります。
- Windows® 98のパッケージをご購入されている場合  
パッケージに入っている「Windows® 98」のCD-ROMをご用意ください。

**1** **次へ** ボタンをクリックします。



チェックボックスがオフ (□) の状態になっているか確認します。

**2** 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」を選択し、**次へ** ボタンをクリックします。



**3** すべてのチェックボックスをオフにし、**次へ** ボタンをクリックします。



**MEMO**

キーボードで操作している場合、[検索場所の指定]のチェックボックスがオフにできないときは、[検索場所の指定]の入力スペースを空白にしておいてください。

**4** 検索するドライバファイルとして「USBヒューマンインターフェイスデバイス」が表示されていることを確認し、**次へ** ボタンをクリックします。



**5** Windows® 98 CD-ROMをドライブに挿入するようにメッセージが表示された場合は、用意しておいたCD-ROMをドライブに挿入し、**OK** ボタンをクリックします。



**6** <ファイルのコピー>画面が表示された場合は、右の[MEMO]を参考にフォルダを指定します。  
・Windows® 98 CD-ROMの画面が表示された場合は、画面右上の  をクリックして画面を閉じてください。

**1** **次へ** ボタンをクリックします。



**2** インストール途中で、「ドライバファイルの特定」画面が表示された場合は[検索場所のオプション]のチェックをすべてオフにして、**次へ**に進んでください。



**3** Windows標準マウスドライバのインストールが完了したら「ステップ3」(表面)へ進みます。

**MEMO**

<ファイルのコピー>画面が表示された場合

- ①「ファイルのコピー元」にキーボードでCD-ROMドライブのドライブ名と「win98」を入力します。
- ② **OK** ボタンをクリックします。

・ドライブ名に続いて「J」と「M」、さらに「WIN98」を入力します。  
例: CD-ROMをDドライブに入れた場合  
D:\WIN98 (小文字でも可)

※プリンストールモデルでWindows®のCD-ROMが添付されていなかった場合は、CD-ROMドライブのドライブ名の代わりに「c:\windows\options\ycabs」フォルダを指定してください。このフォルダを指定してもインストールが進まない場合は、Windows® 98標準ドライバファイルの保存先について、ご使用のパソコンのメーカーにお問い合わせください。  
※コピー先の日付が、CD-ROM内のファイルより新しい場合は、そのまま新しい日付のファイルを使用してください。

●<ファイルのコピー>画面の**参照** ボタンから選択する方法もあります。

- ① **参照** ボタンをクリックします。
- ② 参照画面の「ドライブ」でCD-ROMを入れたドライブを選択し、「フォルダ」で「win98」フォルダを選択します。
- ③ 参照画面の **OK** ボタンをクリックします。
- ④ <ファイルのコピー>画面の **OK** ボタンをクリックします。

**7** **完了** ボタンをクリックします。



**MEMO**

ご使用の環境によっては、**完了** ボタンをクリックしたあと、Windows® 98 CD-ROMを挿入するようにメッセージが表示されることがあります。手順 **6** と[MEMO]を参考にインストール作業を続けてください。

**8** これで、Windows標準マウスドライバのインストールは完了です。Windows® 98 のCD-ROMを取り出してください。「ステップ3」(表面)へ進みます。

## Mac OS X (10.2~10.3) の場合

**Mac OS X (10.4以降)は、ドライバのインストールは不要です。表面の「ステップ1」から作業を進めてください。**  
Mac OS X 10.4以降ではOS標準でホイール機能をお使いになれます。

エレコム オリジナルドライバはMac OS X (10.2~10.3) に対応しています。また、インストールにはログインするアカウントの名前(ユーザ名)とパスワードが必要になります。

**MEMO**

ドライバとは  
ドライバとは、パソコンに接続した機器をMacintoshが認識し、動作させるために必要なソフトウェアのことです。Macintosh上でホイール機能および右ボタンを使用するために必要になります。

**注意** 既存のマウスがメーカーオリジナルのドライバや設定ユーティリティなどを使用している場合は、あらかじめアンインストールしておいてください。他社製ドライバなどがインストールされていると本製品が正常に動作しないことがあります。アンインストール方法については既存のマウスの説明書をお読みください。

**1** パソコンの電源を入れて、Mac OSを起動します。

**2** 当社のホームページからドライバファイルをダウンロードし、ダウンロードしたファイルをダブルクリックしてディスクイメージをマウントします。マウントされたディスクイメージを開きます。

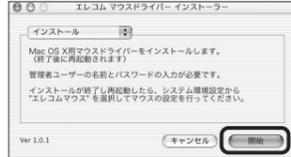


ダウンロード先URL <http://www.elecom.co.jp/support/download>

**3** 「Installer for X」アイコンをダブルクリックします。



**4** **開始** ボタンをクリックします。



**5** <認証>画面が表示されます。名前とパスワードを入力し、**OK** ボタンをクリックします。



・名前とパスワードは[システム環境設定]にある[マイアカウント]で設定されている内容です。

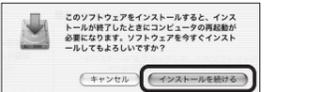
**6** 「ようこそ エレコムマウスドライバーインストールへ」と表示されますので、**続ける** ボタンをクリックします。

**7** インストール先が複数ある場合は、インストール先の選択画面が表示されます。インストール先のディスクを選択し、**続ける** ボタンをクリックします。



**8** 「簡易インストール」と表示されますので、**インストール** ボタンをクリックします。

**9** インストール後に再起動することを確認するメッセージが表示されますので、**インストールを続ける** ボタンをクリックします。



**10** インストールが完了し、再起動するようにメッセージが表示されますので、**再起動** ボタンをクリックします。



**11** 再起動したら、メニューバーの左端にある[アップル]メニューを開き、[システム環境設定...]を選択します。



**12** <システム環境設定>画面が表示されますので、「その他」の[エレコムマウス]アイコンをクリックします。



**13** 以下のアイコンが表示されますので、アイコンをクリックして、設定アプリケーションを起動します。



**14** 設定アプリケーションの「Elecom Mouse for X」が起動すると、マウスの全機能が有効になります。それぞれの機能は、お好みに応じて変更することができます。



**15** これでドライバのインストール作業は完了です。「ステップ3」(表面)へ進みます。

## Mac OS 8.6~9.xの場合

**1** パソコンの電源を入れて、Mac OSを起動します。

**2** 当社のホームページからドライバファイルをダウンロードし、ダウンロードしたファイルをダブルクリックして解凍します。解凍されたフォルダを開きます。

ダウンロード先URL <http://www.elecom.co.jp/support/download>

**3** 「インストーラ」アイコンをダブルクリックします。



**4** **開始** ボタンをクリックします。



**5** インストールが完了し、再起動するようにメッセージが表示されますので、**再起動する** ボタンをクリックします。

**6** これでドライバのインストール作業は完了です。「ステップ3」(表面)へ進みます。

## ユーザーサポートについて

よくあるご質問とその回答  
<http://www.elecom.co.jp/support> こちらから「製品Q&A」をご覧ください。

お電話・FAXによるお問い合わせ (ナビダイヤル)  
エレコム総合インフォメーションセンター  
TEL: 0570-084-465 FAX: 0570-050-012 受付時間 9:00~19:00 年中無休

## 基本仕様

製品名	PALVOワイヤレスマウス
製品型番	M-PADURシリーズ
インターフェイス	USB
使用周波数	27MHz帯
対応OS	Windows Vista/XP/Me/2000/98, Mac OS X(10.2~10.5), Mac OS 8.6~9.x
電源	単4形アルカリ乾電池・単4形マンガン乾電池または単4形オキシライド乾電池、単4形ニッケル水素電池
電圧到達距離	非磁性体(木製机など): 見通し半径約1.0m 非磁性体(スチール製机など): 見通し半径約0.2m ※当社環境でのテスト値
電力性能	アルカリ乾電池使用時の目安 連続動作時間: 約174時間 連続待機時間: 約348日 想定使用可能時間: 263日(約8ヶ月)(18時間時のパソコン操作で25%をマウス操作に割り当てた場合)
カウント数	1000カウント
外形寸法/質量	マウス本体: W58.9×D103.2×H32.6mm/61.5g レシーバ: W18.5×D50.5×H4.0mm/2.9g
動作温度/湿度	0~40℃/95%RH(ただし結露なきこと)
保存温度/湿度	-15~60℃/95%RH(ただし結露なきこと)

## 保証規定

- 保証内容
  1. 弊社が定める保証期間(本製品ご購入日から起算されます。)内に、適切な使用環境で発生した本製品の故障に限り、無償で本製品を修理または交換いたします。
- 無償保証範囲
  2. 以下の場合には、保証対象外となります。
    - (1) 保証書および故障した本製品をご提出いただけない場合。
    - (2) 保証書に販売店ならびに購入年月日の記載がない場合、またはご購入日を確認できる証明書(シード・納品書など)をご提示いただけない場合。
    - (3) 保証書に偽造・改変などが認められた場合。
    - (4) 弊社および弊社が指定する機関以外の第三者ならびにお客様による改造、分解、修理により故障した場合。
    - (5) 弊社が定める範囲以外に接続、または組み込んで使用し、故障または破損した場合。
    - (6) 通常一般家庭内で想定される使用環境の範囲を超える温度、湿度、振動等により故障した場合。
    - (7) 本製品を購入いただいた後の輸送中に発生した衝撃、落下等により故障した場合。
    - (8) 地震、火災、落雷、風水害、その他の天変地異、公害、異常電圧などの外的要因により故障した場合。
    - (9) その他、無償修理または交換が認められない事由が発見された場合。
- 修理
  3. 修理のご依頼は、本保証書の本製品に添えて、お買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターへ送付してください。
  4. 弊社修理センターへご送付いただく場合は送料はお客様のご負担となります。また、ご送付いただく際、適切な梱包の上、紛失防止のため受渡の確認できる手段(宅配や簡易書留など)をご利用ください。尚、弊社は運送中の製品の破損、紛失については一切の責任を負いかねます。
  5. 同機種での交換ができない場合は、保証対象製品と同等またはそれ以上の性能を有する他の製品と交換させていただきます場合があります。
  6. 有償、無償にかかわらず修理により交換された旧部品または旧製品等は返却いたしかねます。
  7. 記憶メディア・ストレージ製品において、修理センターにて製品交換を実施した際にはデータの保全は行わず、全て初期化いたします。記憶メディア・ストレージ製品を修理に出す際には、お客様ご自身でデータのバックアップを取っていただきますようお願い致します。
- 免責事項
  8. 本製品の故障について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、弊社の債務不履行および不法行為等の損害賠償責任は、本製品購入代金を上限とさせていただきます。
  9. 本製品の故障に起因する差別的、付随的、間接的および精神的損害、逸失利益、ならびにデータ損害の補償等につきましては、弊社は一切責任を負いかねます。
- 有効範囲
  10. この保証書は、日本国内においてのみ有効です。
  11. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

PALVOワイヤレスマウス ユーザーズマニュアル 2008年7月16日 第4版 エレコム株式会社

・本書の著作権は、エレコム株式会社が保有しています。  
 ・本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載することを禁止させていただきます。  
 ・本書の内容に誤りがある場合、ご質問がございましたら、エレコム総合インフォメーションセンターまでご連絡いたします。  
 ・本製品の仕様および外観は、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。  
 ・実行した結果の影響につきましては、上記の理由にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。  
 ・本製品のうち、戦略物資または役務のため輸出にあたっては、外為法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。  
 ・Microsoft®、Windows®、Windows Vista®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。  
 ・その他本書に記載されている商品名/社名などは、一般に商標ならびに登録商標です。  
 ©2008 ELECOM Co., Ltd. All Rights Reserved.